

第80回 簿記実務検定第 3 級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	受	取	手	形							
売	掛	金	貸	倒	引	当	金	有	価	証	券	仮	払	金						
建		物	支	払	手	形		買	掛	金		仮	受	金						
所 得 税 預 り	金	商		品		券	売			上	有	価	証	券	売	却	益			
仕	入	給				料	貸 (貸	倒	損	償	失	却		有	価	証	券	売	却	損

- a. 現金 ¥270,000 を普通預金に預け入れた。
- b. 山梨商店は商品 ¥130,000 を売り渡し、代金のうち ¥100,000 はさきに発行した商品券で受け取り、残額は現金で受け取った。
- c. 得意先南北商店が倒産し、前期から繰り越された同店に対する売掛金 ¥110,000 が回収不能となったため、貸し倒れとして処理した。ただし、貸倒引当金勘定の残高が ¥150,000 ある。
- d. 本月分の給料 ¥750,000 の支払いにあたり、所得税額 ¥60,000 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。
- e. 売買目的で保有している岐阜商事株式会社の株式20株（1株の帳簿価額 ¥70,000）を1株につき ¥74,000 で売却し、代金は当店の当座預金口座に振り込まれた。
- f. 店舗用に建物 ¥3,000,000 を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。なお、登記料と買入手数料の合計額 ¥200,000 は現金で支払った。
- g. 長野商店に対する買掛金の支払いとして、さきに得意先東京商店から受け取っていた約束手形 ¥530,000 を裏書譲渡した。
- h. 出張中の従業員から当店の当座預金口座に ¥90,000 の振り込みがあったが、その内容は不明である。

2

愛知商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

6月/8日 名古屋商店から商品の注文を受け、内金として現金 ¥70,000 を受け取った。

(伝票番号 No. 57)

〃 日 商品代金として豊橋商店あてに振り出した約束手形#13 ¥190,000 が支払期日となり、当座預金口座から支払ったとの通知を取引銀行から受けた。

(伝票番号 No. 72)

3

新潟商店の下記の取引について、

(1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の当座預金勘定と買掛金勘定に転記しなさい。

(2) 買掛金元帳とA品の商品有高帳に記入して、締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、当座預金勘定と買掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

iv 商品有高帳の記入は、先入先出法によること。

取 引

/月 8日 石川商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A 品 600個 @¥280 ¥168,000

B 品 200〃 〃 〃400 ¥ 80,000

9日 石川商店から仕入れた上記商品の一部に品質不良のものがあったので、次のとおり返品した。

なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

B 品 5個 @¥400 ¥ 2,000

/6日 富山商店から次の商品を仕入れ、代金のうち ¥130,000 は同店あての約束手形#3を振り出して支払い、残額は掛けとした。

C 品 800個 @¥500 ¥400,000

23日 福井商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥110,000 は同店振り出しの小切手#9で受け取り、残額は掛けとした。

A 品 450個 @¥420 ¥189,000

30日 富山商店に対する買掛金の一部について、次の小切手#7を振り出して支払った。

HM0007	小 切 手		新潟 1601 0149-016
支払地 新潟県新潟市東区本所847-1			
株式 全商銀行新潟支店 会社			
金 額	¥300,000		
新潟	上記の金額をこの小切手と引き替えに 持参人へお支払いください		
	新潟県新潟市中央区白山浦2-68-2		
	新 潟 商 店		
	平成〇年 1 月 30 日 振出地 新潟県新潟市	振出人 新 潟 太 郎	

4

次の各問いに答えなさい。

- (1) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

総勘定元帳のすべての勘定の記録を集計すると、借方に記入した金額の合計と貸方に記入した金額の合計は、必ず等しくなる。これは によるものである。

1. 財 産 法 2. 貸借平均の原理 3. 貸借対照表等式

- (2) 次の文の に入る金額を求めなさい。

三重商店（個人企業）の期首の資産総額は ¥4,750,000 であり、期末の資産総額は ¥5,400,000 負債総額は ¥2,310,000 であった。なお、この期間中の収益総額は ¥6,680,000 で当期純利益が ¥440,000 であるとき、費用総額は ¥ a で、期首の負債総額は ¥ b である。

- (3) 静岡商店における下記の当座預金出納帳と受取手形記入帳によって、

a. 当座預金出納帳の（ア）の金額を求めなさい。ただし、限度額を ¥200,000 とする当座借越契約を結んでいる。

b. /月7日に為替手形#9を割り引いたさいの、手形売却損勘定に記入された金額を求めなさい。ただし、手取金はすべて当座預金に預けている。

当 座 預 金 出 納 帳

平成 ○年	摘 要	預 入	引 出	借または貸	残 高
/ /	前 月 繰 越	80,000		借	80,000
	5 浜松商店から商品仕入れ 小切手#13		(ア)	貸	20,000
	7 手形の割り引き 為替手形#9	247,000		借	()

受 取 手 形 記 入 帳

平成 ○年	摘 要	金 額	手形 種類	手形 番号	支 払 人	振出人または裏書人	振出日	満期日	支払場所	て ん 末	
/ 6	売り上げ	250,000	為手	9	磐田商店	三島商店	/ 6 3 6		全商銀行北支店	/ 7	割 引
	7 売掛金回収	262,000	約手	3	熱海商店	熱海商店	/ 7 3 7		全商銀行東支店		

5

北陸商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の決算整理事項は次のとおりであった。よって、

- (1) 精算表を完成しなさい。
- (2) 貸倒引当金勘定に必要な記入をおこない、締め切ちなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ￥648,000
- b. 貸 倒 見 積 高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ￥1,260,000 残存価額は零（0）耐用年数は6年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐 用 年 数}}$$

- d. 現金過不足勘定の ￥2,000 は雑益とする。
- e. 引出金勘定の ￥30,000 は整理する。

第80回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [答案用紙]

1	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		
h		

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	5 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	---------	-----

試験場校	受験番号

(2) (注意) 買掛金元帳と商品有高帳は締め切ること。

買 掛 金 元 帳

石 川 商 店

1

平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借は また貸	残 高
/ /	前月繰越		170,000	貸	170,000

富 山 商 店

2

平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借は また貸	残 高
/ /	前月繰越		340,000	貸	340,000

商 品 有 高 帳

(先入先出法)

品 名 A 品

単位：個

平成 〇年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
/ /	前月繰越	200	320	64,000				200	320	64,000

4 (1)

(2)

a	¥	b	¥
---	---	---	---

(3)

a	¥	b	¥
---	---	---	---

2	
得点	

3	
得点	

4	
得点	

(1)

精 算 表

平成〇年/2月3/日

[illegible]

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

貸 倒 引 当 金		4
6 / 6 売 掛 金	20,000	1 / 1 前 期 繰 越 26,000

5
得点

借 方		貸 方	
a	普 通 預 金	現 金	270,000
b	商 品 券 現 金	売 上	130,000
c	貸 倒 引 当 金	売 掛 金	110,000
d	給 料	所得稅 預 り 金 現 金	60,000 690,000
e	当 座 預 金	有 価 証 券 有 価 証 券 売 却 益	1,480,000 1,400,000 80,000
f	建 物	当 座 預 金 現 金	3,200,000 3,000,000 200,000
g	買 掛 金	受 取 手 形	530,000 530,000
h	当 座 預 金	仮 受 金	90,000 90,000

2

入金伝票 平成○年6月18日				No. 57				出金伝票 平成○年 月 日				No. _____			
科目	前 受 金	入金先	名 古 屋 商 店 殿	科目	摘要	支 払 先	金 額	科目	摘要	支 払 先	金 額	科目	摘要	支 払 先	金 額
摘要	摘要	金額		摘要		金額		摘要		金額		摘要		金額	
商品代金の内金受け取り		7 0 0 0 0													
合 計		7 0 0 0 0		合 計				合 計				合 計			

振替伝票 平成○年6月18日				No. 72			
勘 定 科 目	借 方	勘 定 科 目	貸 方	勘 定 科 目	借 方	勘 定 科 目	貸 方
支 払 手 形	1 9 0 0 0 0	当 座 預 金	1 9 0 0 0 0	支 払 手 形	1 9 0 0 0 0	当 座 預 金	1 9 0 0 0 0
合 計	1 9 0 0 0 0	合 計	1 9 0 0 0 0	合 計	1 9 0 0 0 0	合 計	1 9 0 0 0 0
摘要 豊橋商店あて約束手形 # 13 期日支払い							

3 (1)

仕 訳 帳				1			
平成 ○年	摘要	要 点	元 子	借 方	貸 方	借 方	貸 方
/	前 期 繰 越 高 入		✓	5,720,000	5,720,000		
8	(仕 入)	(買 掛 金)	15	248,000	248,000		
9	(買 掛 金)	(仕 入)	15	2,000	2,000		
16	(仕 入)	(諸 口 支 払 手 形)		400,000			
		(買 掛 金)	15		130,000		
23	諸 口 (売 金)	(売 掛 金)			270,000		
		(当 座 預 金)	15		189,000		
30	(買 掛 金)				79,000		
			2		300,000		

総勘定元帳				2			
平成 ○年	摘要	借 方	平成 ○年	摘要	借 方	貸 方	貸 方
/	前 期 繰 越	6,270,000	1 30	買 掛 金	1		300,000
19	仕 入	2,000	/	前 期 繰 越	✓		570,000
30	当 座 預 金	300,000	8	仕 入	1		248,000
			16	仕 入			270,000

買 掛 金				15			
平成 ○年	摘要	借 方	平成 ○年	摘要	借 方	貸 方	貸 方
19	仕 入	2,000	/	前 期 繰 越	✓		570,000
30	当 座 預 金	300,000	8	仕 入	1		248,000
			16	仕 入			270,000

(2) (注意) 買掛金元帳と商品有高帳は締め切ること。

買掛金元帳

石川商店					1
平成○年	摘要	借方	貸方	借方残高	貸方残高
/	前月繰越		170,000		170,000
/	仕入れ		248,000		418,000
8	仕入れ				416,000
9	仕入れ	2,000			
31	次月繰越	416,000			
		418,000	418,000		

富山商店					2
平成○年	摘要	借方	貸方	借方残高	貸方残高
/	前月繰越		340,000		340,000
/	仕入れ		270,000		610,000
16	仕入れ				310,000
30	支払	300,000			
31	次月繰越	310,000			
		610,000	610,000		

(先入先出法)

商品有高帳

単位：個									
平成○年	摘要	受入		払出		残高		数量	単価
		数量	単価	数量	単価	数量	単価		
/	前月繰越	200	320			200	320		64,000
8	石川商店	600	280			200	320	600	168,000
23	福井商店			200	320				
				250	280				
31	次月繰越			350	280			350	98,000
		800		800					
				232,000		232,000			

4 (1)

2

(2)	a	¥ 6,240,000	b	¥ 2,100,000
-----	---	-------------	---	-------------

(3)	a	¥ 100,000	b	¥ 3,000
-----	---	-----------	---	---------

5

(1)

精算表

平成○年/2月3/日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	451,000						451,000	
当座預金	1,240,000						1,240,000	
売掛金	1,500,000						1,500,000	
貸倒引当金		6,000		24,000				30,000
繰越商品	594,000		648,000	594,000			648,000	
前払金	300,000						300,000	
備品	840,000			210,000			630,000	
支払手形		860,000						860,000
買掛金		972,000						972,000
資本金		2,700,000	30,000					2,670,000
引出金	30,000			30,000				
売上		9,450,000				9,450,000		
受取手数料		89,000				89,000		
仕入	6,858,000		594,000	648,000	6,804,000			
給料	1,356,000				1,356,000			
支払家賃	828,000				828,000			
消耗品費	64,000				64,000			
雑費	18,000				18,000			
現金過不足		2,000		2,000				
	14,079,000	14,079,000						
貸倒引当金繰入			24,000			24,000		
減価償却費			210,000			210,000		
雑益				2,000			2,000	
当期純利益				237,000		237,000		
			1,508,000	1,508,000	9,541,000	9,541,000	4,769,000	4,769,000

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

貸倒引当金				4
6/6 売掛金	20,000	1/1 前期繰越	26,000	
12/31 次期繰越	30,000	12/31 貸倒引当金繰入	24,000	
	50,000		50,000	

(i) 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
(ii) 勘定科目欄の当期純利益と損益計算書欄の237,000は赤記でもよい。